

飛鳥資料館冬期企画展「飛鳥の考古学2011」

飛鳥資料館では毎年新春に冬期企画展「飛鳥の考古学」と題しまして、飛鳥・藤原地域の発掘成果の速報展を各調査機関と連携しておこなってまいりました。2006年より続けてきました本展も、おかげさまで今年で無事6回目を迎えることができました。今年の「飛鳥の考古学2011」では、例年どおりの各調査機関の速報展の成果だけではなく、一区切りがついたものについては、これまでの成果と合わせて展示します。

また、2011年春には奥明日香の棚田が奈良県で初めて重要文化的景観に選定され、本年は、奥明日香にとっても重要な年となりました。この奥明日香の棚田の文化的景観についてもわかりやすく本展でもとりあげてみました。

例年とは違う「飛鳥の考古学」を新春の飛鳥資料館で是非お楽しみください。（飛鳥資料館 成田 聖）

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2011年12月